

令和6年度 第7回県政モニター調査結果

生活衛生課乳肉衛生係

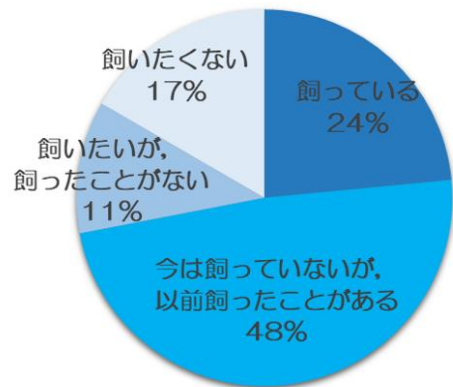
【連絡先：099-286-2788】

- テーマ 動物愛護について
- 調査の目的 県民の皆様の動物愛護への意識や実態を把握し、今後の動物の愛護及び管理に関する施策の参考とするため。
- 調査時期 令和6年9月
- 調査対象 200人
- 回答者数 133人（回答率：66.5%）

問1 自宅で犬や猫などの、動物を飼ったことがありますか。

	回答数	割合
飼っている	31人	23%
今は飼っていないが、 以前飼ったことがある	64人	48%
飼いたいが、飼った ことがない	15人	11%
飼いたくない	22人	17%

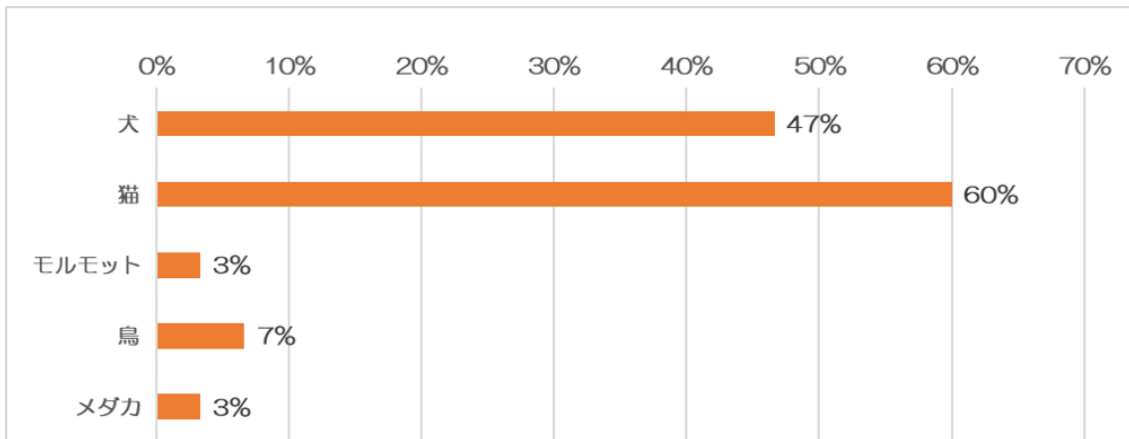
（回答者数 132人）



問1-① 問1で「飼っている」とお答えいただいた方が飼っている動物

	回答数	割合
犬	14人	47%
猫	18人	60%
モルモット	1人	3%
鳥	2人	7%
メダカ	1人	3%

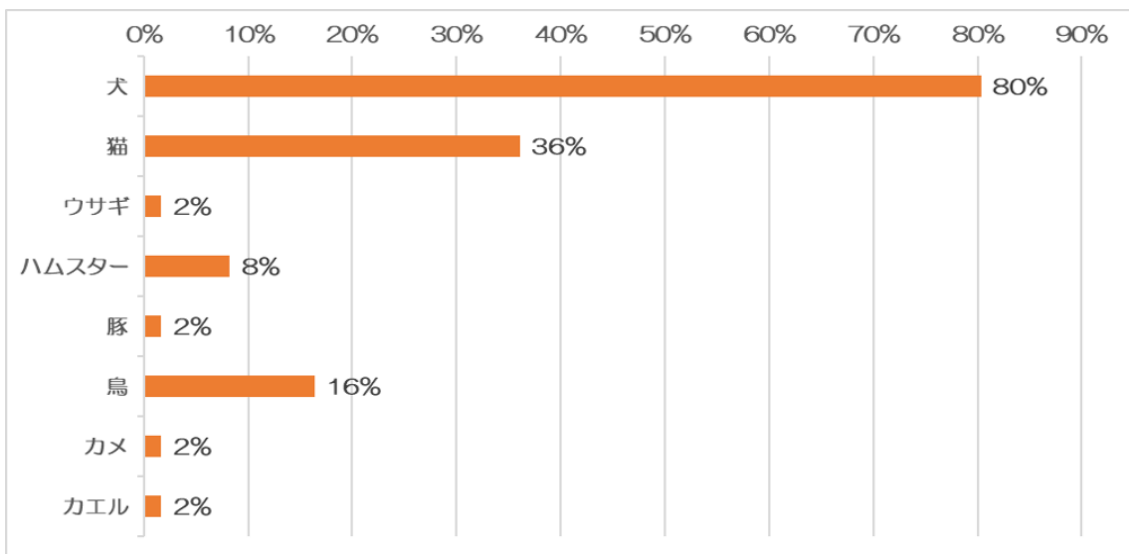
（回答者数 30人）



問1-② 問1で「以前飼ったことがある」とお答えいただいた方が飼っていた動物

	回答数	割合
犬	49人	80%
猫	22人	36%
ウサギ	1人	2%
ハムスター	5人	8%
豚	1人	2%
鳥	10人	16%
カメ	1人	2%
カエル	1人	2%

(回答者数 61人)



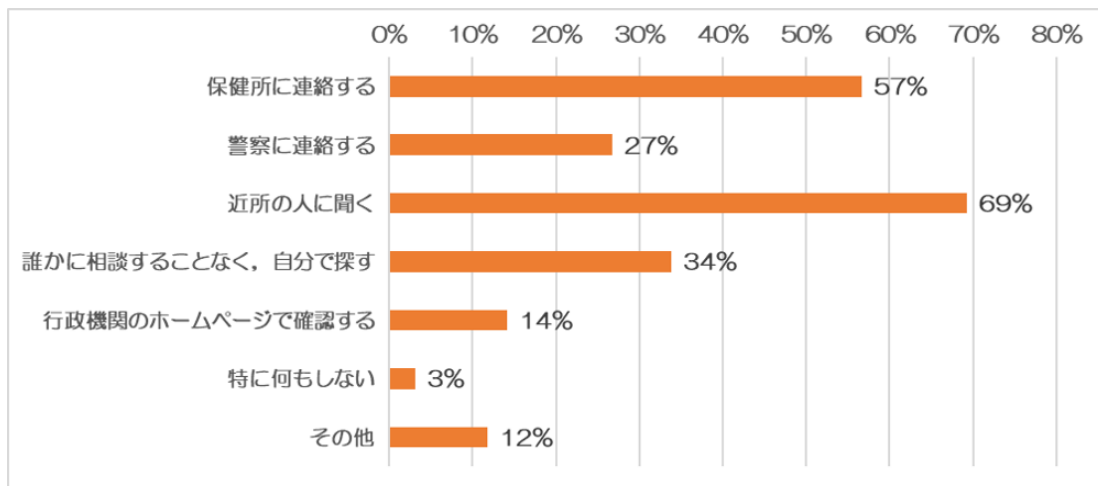
問2 飼っている犬猫が行方不明になった場合どうしますか。
 (上位3つまでご回答ください。)

	回答数	割合
保健所に連絡する	72人	57%
警察に連絡する	34人	27%
近所の人に聞く	88人	69%
誰かに相談することなく、自分で探す	43人	34%
行政機関のホームページで確認する	18人	14%
特に何もしない	4人	3%
その他	15人	12%

(回答者数 127人)

【その他回答（抜粋）】

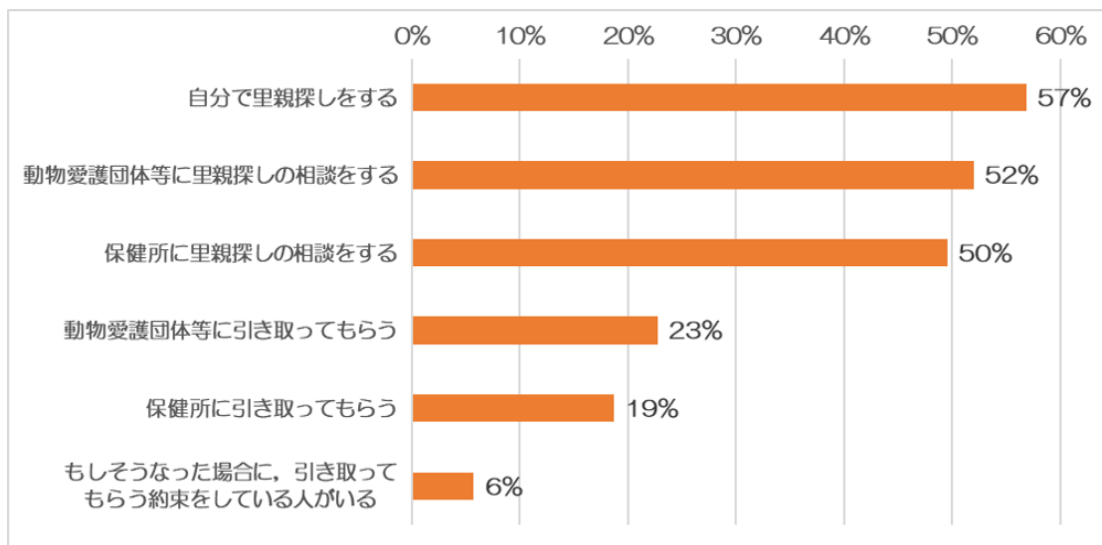
- 公共施設等で張り紙等してもらう
- SNS等で情報を発信する
- 犬猫のボランティア等に相談する



問3 飼っている動物を飼い続けることが困難になった場合どうしますか。
 (上位3つまでご回答ください。)

	回答数	割合
自分で里親探しをする	70人	57%
動物愛護団体等に里親探しの相談をする	64人	52%
保健所に里親探しの相談をする	61人	50%
動物愛護団体等に引き取ってもらう	28人	23%
保健所に引き取ってもらう	23人	19%
もしそうなった場合に、引き取ってもらう約束をしている人がいる	7人	6%
その他	10人	8%

(回答者数 123人)



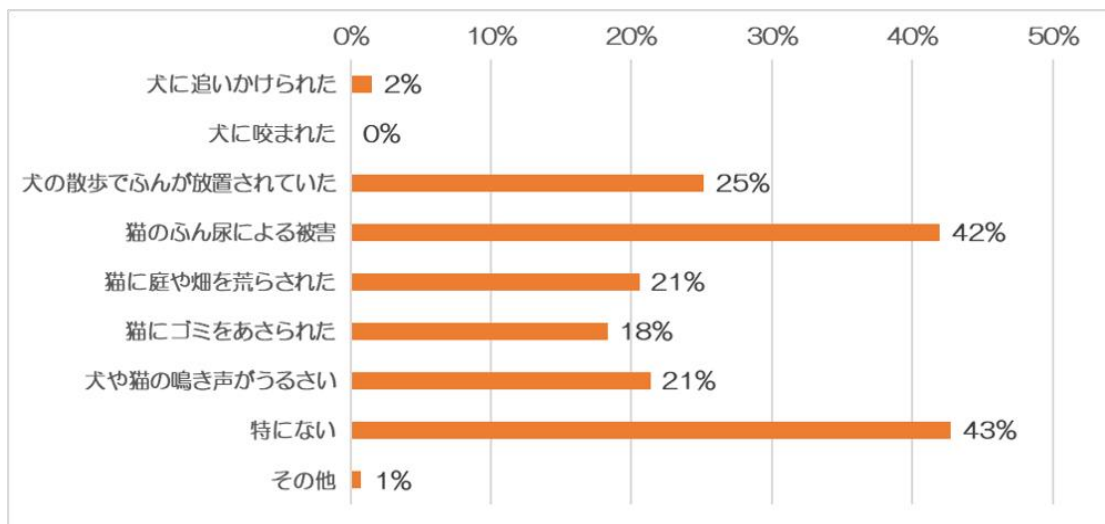
問4 ここ1, 2年の間に、犬や猫による被害や迷惑を受けた事がありますか。
(複数回答可)

	回答数	割合
犬に追いかけられた	2人	2%
犬に咬まれた	0人	0%
犬の散歩でふんが放置されていた	33人	25%
猫のふん尿による被害	55人	42%
猫に庭や畑を荒らされた	27人	21%
猫にゴミをあさられた	24人	18%
犬や猫の鳴き声がうるさい	28人	21%
特にない	56人	43%
その他	1人	1%

(回答者数 131人)

【その他回答】

- 隣で飼っているヤギの鳴き声がうるさい。



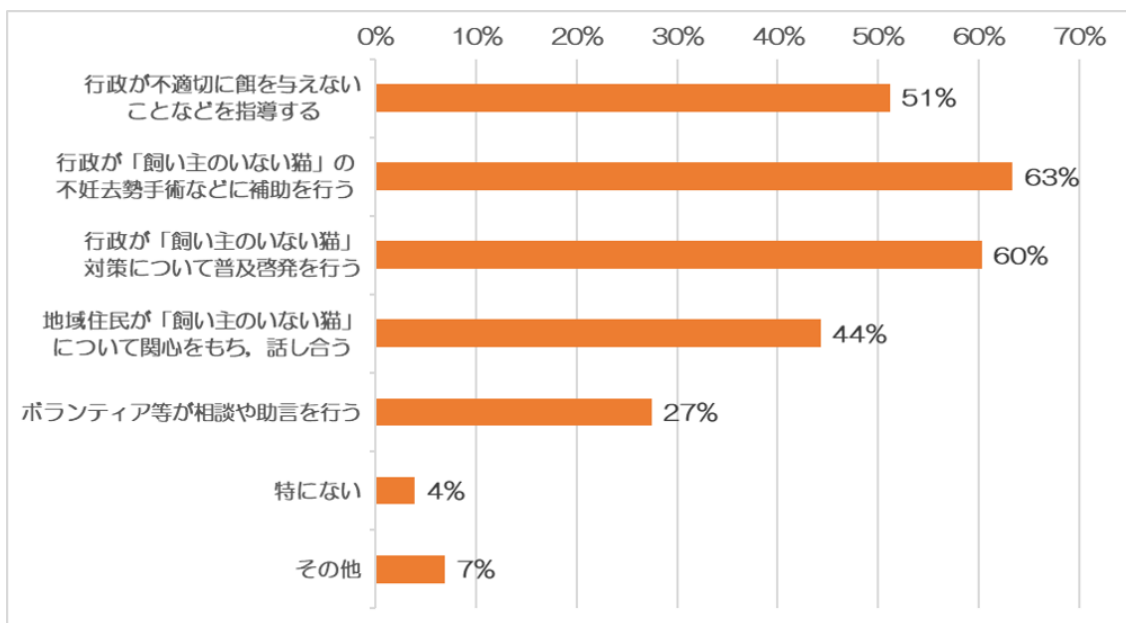
問5 「飼い主のいない猫」（いわゆる野良猫）の問題を解決するには何が
必要だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
行政が不適切に餌を与えないことなどを指導する	67人	51%
行政が「飼い主のいない猫」の不妊去勢手術などに補助を行う	83人	63%
行政が「飼い主のいない猫」対策について普及啓発を行う	79人	60%
地域住民が「飼い主のいない猫」について関心を持ち、話し合う	58人	44%
ボランティア等が相談や助言を行う	36人	27%
特にない	5人	4%
その他	9人	7%

（回答者数 131人）

【その他回答（抜粋）】

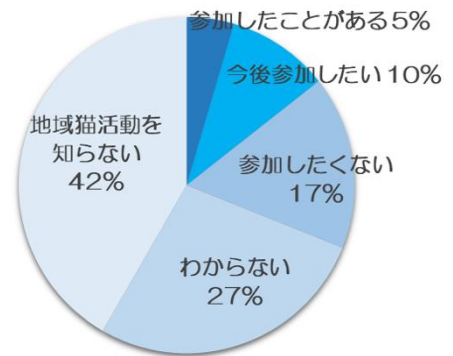
- 今以上に行政が保護活動や里親探しの支援をして欲しい
- 動物を買う時は、動物戸籍に登録する等動物を大切にすることがある
- 野良猫に迷惑している人の気持ち伝える機会を作るか広報して欲しい



問6 「地域猫活動」に参加したいと思いますか。

	回答数	割合
参加したことがある	6人	5%
今後参加したい	13人	10%
参加したくない	22人	17%
わからない	36人	27%
地域猫活動を知らない	55人	42%

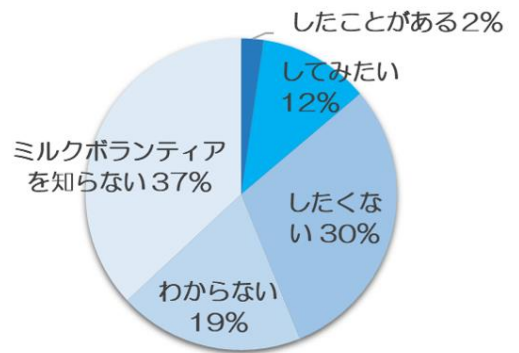
(回答者数 132人)



問7 子猫等の「ミルクボランティア」をしてみたいと思いますか。

	回答数	割合
したことがある	3人	2%
してみたい	15人	12%
したくない	39人	30%
わからない	25人	19%
ミルクボランティアを知らない	48人	37%

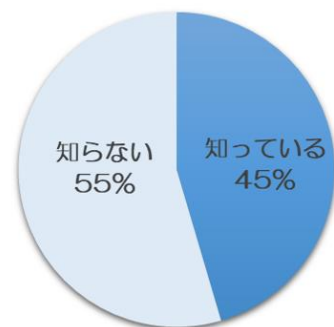
(回答者数 130人)



問8 災害時にはペットとの同行避難が原則とされていることを知っていますか。

	回答数	割合
知っている	60人	45%
知らない	72人	55%

(回答者数 132人)



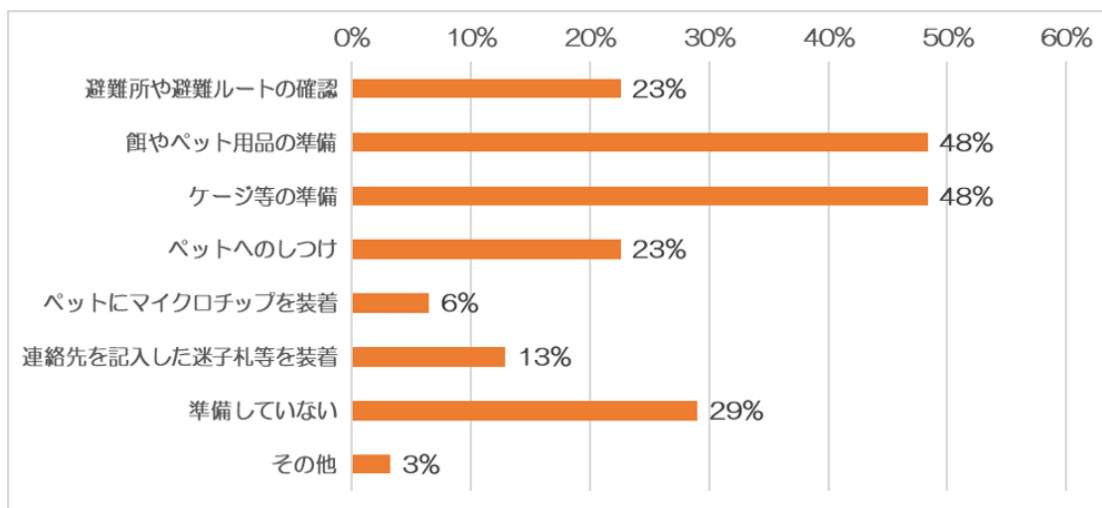
問9 災害時に備え、ペットとの同行避難のためにどのような準備をしていますか。（複数回答可）

	回答数	割合
避難所や避難ルートの確認	7人	23%
餌やペット用品の準備	15人	48%
ケージ等の準備	15人	48%
ペットへのしつけ	7人	23%
ペットにマイクロチップを装着	2人	6%
連絡先を記入した迷子札等を装着	4人	13%
準備していない	9人	29%
その他	1人	3%

（回答者数 ペット飼養者 31人）

【その他回答（抜粋）】

- 近くの避難所が狭いので、一緒に避難できるか不安
- 重度の猫アレルギーのため、ペット同伴可の避難所は避けたい



問10 動物の愛護や適正な飼養の推進のために、県が今後積極的に取り組むべき事は何だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
飼い主への規制強化	79人	61%
ペット業者への規制強化	70人	54%
動物の適正な飼養についての啓発	81人	63%
学校等での子供を対象とした啓発	55人	43%
ボランティアの養成及びボランティアへの支援	47人	36%
相談・要望の窓口の充実	59人	46%
飼い主のいる犬猫の不妊去勢手術の補助	62人	48%
飼い主のいない猫の不妊去勢手術の補助	66人	51%
特にない	3人	2%
わからない	1人	1%
その他	6人	5%

(回答者数 129人)

【その他回答（抜粋）】

- ペットを虐待したら罰金等の対応をするべき
- 人が困窮している中、動物だけを特別扱いするのは絵空事に感じる
- 住民に地域猫を理解してほしい
- 保護猫の不妊去勢手術や里親探し等の支援がほしい。
- 強い対策を立てず自然に任せることも対策の一つ
- 預かりボランティアは機会があればしてみたい
- 自己責任を果たせない者達への補助金等は税金の無駄遣い
- 飼い主のいない動物への餌やりに罰則を設けてほしい

